

成城大学文芸学部 創設 60 周年記念事業

一般公開 冬期シンポジウム (無料・事前申込制)

『日本文化に何を見た?』開催

一日程:2015年1月24日(土)15:00~17:30 会場:成城大学一

成城大学(東京都世田谷区 学長:油井 雄二)は、文芸学部の創設60周年を記念して、春期(5月)と冬期(2015年1月)の2回、文芸学部の教員のコーディネートで記念公開シンポジウム『ニホンから／へのまなざし』を開催しております。本シンポジウムでは、「ニホンから／へのまなざし」を統一テーマとしてグローバル化が進む現代世界でニホンが外国文化をどう見てきたのか、また外国はニホン文化をどうみているのかを考えていきます。

このたび、2015年1月24日(土)に開催する冬期シンポジウムは「日本文化に何を見た?」と題し、現代日本のポピュラー・カルチャーに魅せられた海外出身(在住)の現代日本文化研究の気鋭の研究者をお招きして、斬新な視点から日本文化を再考していただきます。なお、シンポジウムはすべて日本語で行われます。



開催概要

- 【タイトル】 記念シンポジウム『日本文化に何を見た?』
- 【日程】 2015年1月24日(土) 15:00~17:30
- 【会場】 成城大学 3号館 322教室 (住所:東京都世田谷区成城6-1-20)
- 【講演者】 永原 宣 (マサチューセッツ工科大学助教授)
家(ウチ)なるアメリカからみるニホン 一家族史としての日米近現代史—
ジェームス・ドーシー (ダートマス大学准教授)
文学研究からポップ・カルチャー研究への転向
—戦時下の文学から60年代政治的フォークへ—
マイク・モラスキー (早稲田大学教授)
“もっと自由な”文化研究は可能か —ジャズの実践を手がかりとして—
- 【司会・コーディネーター】 東谷 護 (成城大学文芸学部准教授) ※講演はすべて日本語で行われます。
- 【参加申込み方法】 文芸学部ホームページで公開中
<http://www.seijo.ac.jp/falit/orig/anniversary/60th/index.html>
- 【締切】 2015年1月15日(木) 必着
- 【問い合わせ先】 成城大学文芸学部 共用研究室
〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20 TEL: 03-3482-9412 (直通)
受付時間 9:00~16:00

本件に関するお問い合わせ

学校法人成城学園 〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20

企画広報部 TEL 03-3482-1092 FAX03-3482-1489 HP www.seijogakuen.ed.jp/

E-mail kikaku@seijo.jp